

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田 壽夫

2015 年 11 月 5 日（木）9:30～16:00

作業項目：1）枯れ枝の枝打ち・つる切り

2）枯木伐倒

3）林床整備

紅葉が始まる時期だが、本山寺山の木々の色づきはなお浅い。今年は秋の深まりが遅いようだ。この日の大阪市内の最高気温は 25.2℃、もっとも作業地の標高は 600m あるので「暑からず寒からず」で、汗が少ないのは助かる。

今日の作業地は本山寺山山頂部から始まる 44 林班「い」地区。午前は東海自然歩道沿いに所々に残る枯木の除伐や高所の枯れ枝打ちをしながら山頂を目指す。午後は 2 班に分かれ山頂尾根から南に下る小さい谷の両側尾根筋を、除伐や枯枝の枝打ちをしながら進む。主に 4 本の「高枝鋸」と「鋸」を使つての作業である。

但し、谷を挟む傾斜地なので、作業時の位置取りと足場の確保には気を使う。特に枯木は予想外に早く倒れることがあり、要注意である。また、除伐した枯木や切り落とした枝の後始末も林床整備上、疎かに出来ない。それに、平日でもポンポン山への登山者は結構あって、自然歩道周辺ではハイカーへの注意はいつも欠かせない。

この日の「成果」は枯木除伐は自然歩道沿いで 5 本、44 林班「い」で 15 本、枝打ち多数と小人数の割に作業は大いに捗る。面積的には 0.5ha の整備を進めたことになる。併せて、今月 15 日（日曜日）に予定している支部行事「わんぱく探検」の現地下相談も行われた。子供たちを含め 10 人以上の参加が見込めそうとのことで、「天気になあ

れ」である。下山時、手を入れたエリアが、スッキリして見えるのはいつも気持ちが良い。

鹿の目撃一件、本山寺山駐車場での鹿の糞など、奥山に紅葉踏み分ける「鹿」の季節、この冬の食害が気にかかる。

(追記)「わんぱく探検」は無事挙行、詳しくは次の活動報告で

【参加者】 斧田 一陽 宮本 廣 倉谷 邦雄 茂木 完治
石原 順子 丸山 喜代司 武田 壽夫 計 7 名



① 集合写真



② 急斜面での倒木整理



③ 枝打ち作業中